



やかただより

広川町
全戸配布

第112号
令和2年2月

「災害を語り継ぐ」活動

「稲むらの火の館」は1854年の安政南海地震・津波を伝承する施設として注目されています。平成23年(2011)の東日本大震災の津波を目の当たりにして、津波防災に感心を持たれています。特に「南海トラフ巨大地震」等の地震・津波対策もあらためて取り上げられています。

一方、「阪神・淡路大震災」から25年目の今年、兵庫県や神戸方面でこの災害の記憶を風化させないための催しもされています。東日本大震災からも9年になります。それ以外でも最近の豪雨・台風等々災害が多い時代になっています。当館も災害伝承施設として、神戸の「人と防災未来センター」の「阪神・淡路大震災を伝える語り部フォーラム」や宮城県南三陸で開催される「全国被災地語り部シンポジウム」に招かれています。当館は、実際に地震・津波を体験した関係者は居ません。しかし、災害を長く伝承して次に起こった時に、避難等で「命を守る」啓発活動を推進していると考えています。町内の皆さまも、「稲むらの火」を誇りをもって伝承してください。

「梧陵さんの行動」がマスコミに

「濱口梧陵翁生誕200年」ということが、マスコミの皆さんにも伝わっているのでしょうか。

新年から、新聞掲載やテレビ・ラジオでいろいろ取り上げられています。取材の時に「今年は梧陵さんの生誕200年ですね。」と言われる事があります。正月から、日本経済新聞近畿版、読売新聞夕刊の全国版に掲載されました。

また、NHK和歌山放送局では「ギュギュっと和歌山」の「わびたび」は耐久社を放送してくれました。「稲むらの火の梧陵さん」だけではなく、「教育の梧陵さん」に焦点を当てていただいたのもうれしいことでした。

珍しいところでは、「FM田辺」から館長に電話での出演依頼がきています。こちらで聞くことは難しいと思いますが、これもうれしい事です。

「語り部ジュニア」が再開 !!

「ごりょう語り部ジュニア」の活動が再開しました。語り部サークルの指導を受けて、町内5、6年生の有志が稲むらの火や濱口梧陵さんの行動を勉強しています。6月から始まり、夏休みには集中的に勉強しました。冬休みから、成果の発表にむけて、勉強会を再開しました。



発表会に向けて、学年ごとグループ単位で、テーマを決め、パワーポイント作成の写真の選定に話し合いました。この「やかただより」が皆様のお手元に届くころには、発表会も終わっていると思いますが、1年間学習してきた成果が出ていると思います。この経験をもとに、防災、津波防災に役立てていただければと期待いたします。

また、今年度の「梧陵語り部ジュニア」の活動には、ラジオの和歌山放送さんがほとんど毎回取材に来て、放送してくれました。このことも、たいへん有難いことでした。

<稲むらの火の館の紹介>

濱口梧陵記念館/津波防災教育センター

〒643-0071 住所 和歌山県有田郡広川町広 671

<http://www.town.hirogawa.wakayama.jp/inamuranohi/>

*開館時間：午前10時～午後5時(受付終了4時)

*休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)

(世界津波の日の11月5日は開館)

年末年始(12/29～1/4)

*記念館だけの入場は無料です

関西大学社会安全学部近藤研究室がこのたび
「ぼうさい甲子園」でグランプリを受賞！



「こども梧陵ガイドプロジェクト」で広川町とすでに4年度にわたって協働している関西大学社会安全学部近藤ゼミが、防災活動の充実度をコンテストする「ぼうさい甲子園」で、小中高大すべての部門を制覇してグランプリを受賞しました。これもひとえに、みなさまとの出会い、みなさまとの取り組みの蓄積によるものです。あらためて御礼申し上げます。

近藤研究室は、いま全国各地で防災・減災の支援活動を実施しています。プロジェクトの数は20ほどにのびります。たとえば兵庫県神戸市では、小学校の校内放送を活用して通年で毎週、短時間の防災学習を実施しており、消防庁長官から表彰されました。京都府京丹波町では、町営のCATVを活用して防災番組をお届けし続けていて、これも本年度、広報コンクールで総務大臣賞を受賞しています。

兵庫県尼崎市では、障害者のかたや難病患者さんと連携して、コミュニティFM放送で全国でも珍しい「防災福祉ラジオ番組」を毎週お届けしています。そのほか、福井県福井市内の山間地域では、限界集落における土砂災害警戒体制について検討するプロジェクトを興すなど、地域に寄り添った防災活動のありかたを考究し、最終的には、ひとりも取りこぼさないような「インクルーシブ防災」の構築を目指していこうとしています。

これからも、津波防災の先進地・広川町でのご縁をより一層深めて、みなさまと共に手を携え、試行錯誤を繰り返して、共に学んでいけたらばと思います。どうぞよろしく申し上げます。

こども梧陵ガイドの振り返り授業を実施！

こんにちは！ 「こども梧陵ガイドプロジェクトチーム」の関西大学近藤ゼミ、龍谷大学石原ゼミです！ ガイド本番が無事終了した翌日の11月18日、広小学校にて、これまでの活動を振り返る特別授業をおこないました。本番で自信をもって発表できたクイズ、あまりお客さんに伝わら



なかったクイズなど、梧陵ガイドの取り組みを思い出しながら振り返りシートを完成させました。児童みんなの

意見や感想をたくさん聞くことができ、次年度につながる新たな発見があったと思います！

そしてこの日は、大学生から児童ひとりひとりに「感謝状」を贈呈しました。誇らしげな姿は、とてもかっこよかったです！ このあと、児童からは、わたしたち大学生に寄せ書きのプレゼントが！ 突然のサプライズに、「一緒に活動してきた本当によかったなあ」と実感することができました。いただいた寄せ書きは大学に持ち帰り大切に飾っています。

今年度の「こども梧陵ガイド」の取

り組みはこれにて終了となりますが、来年度も引き続き、関西大学・龍谷大学が「五代目」のメンバーと一緒に尽力する予定です。どうぞよろしくお願ひ致します。

最後に広小学校の6年生の皆さん、お疲れさまでした！ 大学生もとても楽しく勉強することができました！ この梧陵ガイドが終わった後も、「次世代梧陵さん」を目指して頑張ってください！



